

★必ずお読みください！（全員必須）

熊本県介護支援専門員更新研修(実務経験者 2 回目以降)「自己事例」の準備について

介護支援専門員更新研修の2日目以降の講義・演習は「適切なケアマネジメント手法」を用いた自己事例の点検演習等を予定しております。

提出の必要はありませんが、各自下表を参考にテーマに応じた自己事例を手元に準備して、ご参加下さい。

※状況により事例のアセスメントやケアプラン一式を画面共有していただく可能性があります。

画面に表示できる状態で保存しておいて下さい。

(事例テーマ)

生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント	疾患別ケアにむけて準備した事例のいずれかを用いて演習を行う。
脳血管疾患のある方のケアマネジメント	脳血管疾患発症後、病状が安定して継続的な再発予防やセルフマネジメントへの移行を検討している事例（退院後概ね1年以上経過している事例が望ましい）
認知症のある方及び家族などを支えるケアマネジメント	認知症自立度Ⅱ以上で確定診断を受けている利用者で診断に至るまでの経緯や地域資源など、総合的なアセスメントができている事例。
大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント	退院後およそ4ヶ月以上経過している事例で、再骨折の予防(転倒予防)や社会参加の機会の回復や維持、拡大などの視点で、多職種と連携している事例。
心疾患のある方のケアマネジメント	心不全の重症度は軽い方であっても、エンド・オブ・ライフ（EOL）ケアの視点で検討できる事例。
誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント	誤嚥性肺炎で入院した事例。専門職と連携して予防につとめた事例。その他、誤嚥性肺炎に関する検討をおこなった事例。
看取り等における看護サービスの活用に関する事例	最期まで支援した事例がない場合は、看取りを見据えて支援をした事例。現在進行形で看取り支援を行っている事例。
家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント	本人のみならず、家族への支援を行っている事例（障害福祉サービスや難病患者、生活困窮、ヤングケアラー、ダブルケア、虐待対応等、介護保険サービス外の支援）

【事例に関する問い合わせ先】

熊本県介護支援専門員協会 介護支援専門員更新研修 事例問合せ専用番号

事例担当：町田 080-5609-3938 西田 080-2753-0303

※担当者は通常業務をしながらの対応になります。電話がつかない場合は時間を置いておかけ直し下さい。